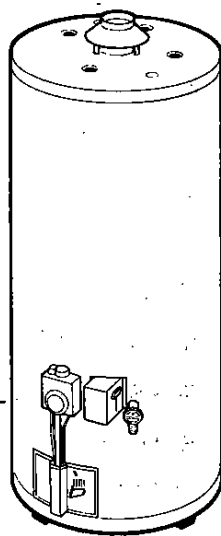


〈大型貯湯タイプ〉
ガス給湯器

33-511型

型式名 PS-120R



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器〈大型貯湯タイプ〉をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

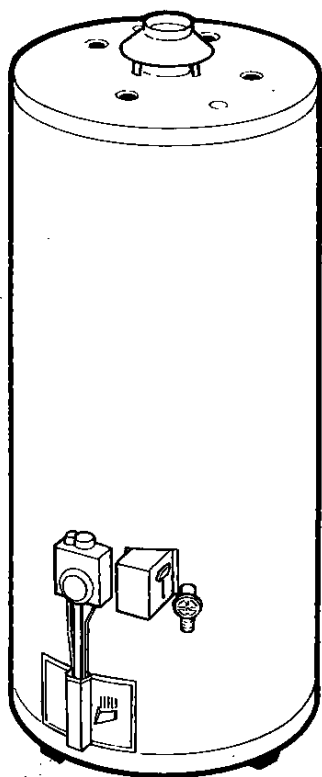
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

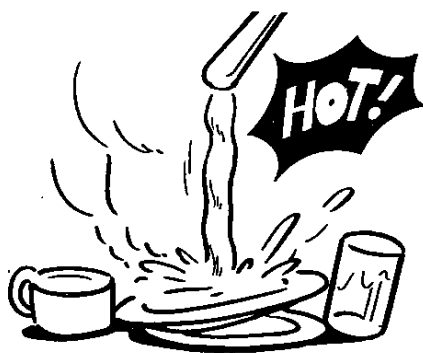
●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱いかた	5
●使用方法	6
●点検・お手入れ	9
●故障かな?と思ったら	10
●仕様	12
●寸法図	13
●保管とアフターサービス	14

特長・機能の紹介

はじめまして… ガス給湯器 33-511型は次のような特長をそろえました。
ぜひ、快適な「お湯のある暮らし」にお役立てください。



■貯湯式だから一度に大量のお湯を供給できます



■立消え安全装置、
過熱防止装置付き

万一の場合にも、自動的にガスをストップして安心です。



必ずお守りください

●使用ガスについてのご注意

- ・ガスの種類を確かめてください。
銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

都市ガス用13A

- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●用途についてのご注意

- ・給湯以外の用途には使用しないでください。

●補助具についてのご注意

- ・補助具は指定のものを使用してください。

●器具設置についてのご注意

- ・器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

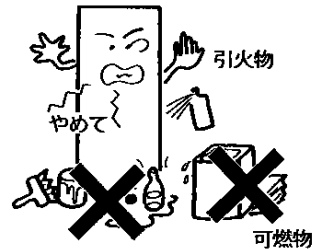
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- ・使用時の点火、消火のほか、使用中にはときどき正常に燃焼していることを確認してください。

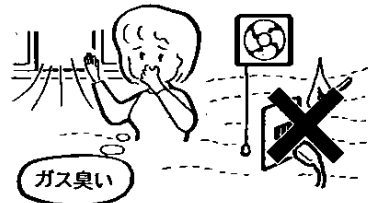
火災予防

- ・器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗濯物、揮発油など）を絶対に置いたり近づけたりしないでください。



ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元栓を閉め、窓や戸を開けてガスを外に出してからお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- ・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しはしないでください。



安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください

やけどのご注意

- ・使用中および使用直後は、器具が高温になっていますので、操作部以外は手を触れないでください。特に、小さなお子様がいらっしゃる家庭はご注意ください。



換気のご注意

- ・ご使用と同時に換気扇を回すなどしてお部屋の空気を入れ替えてください。
- ・お部屋の換気口は常に確保し、物などでふさがないようにください。



異常時の処置

- ・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐ使用をやめて、ガス元栓を閉めてください。
- ・10、11ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行ってください。

凍結についてのご注意

- ・冬期には 器具内の水が凍って器具が破損することがあります。凍結のおそれのある期間は8ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

- ・器具や配管が破損しますと 高額の修理費がかかります。(有料)凍結したままでは絶対に使用しないでください。再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、器具および配管から水漏れがないことを確認後、6ページ「使用方法」の項以下の操作を行ってください。

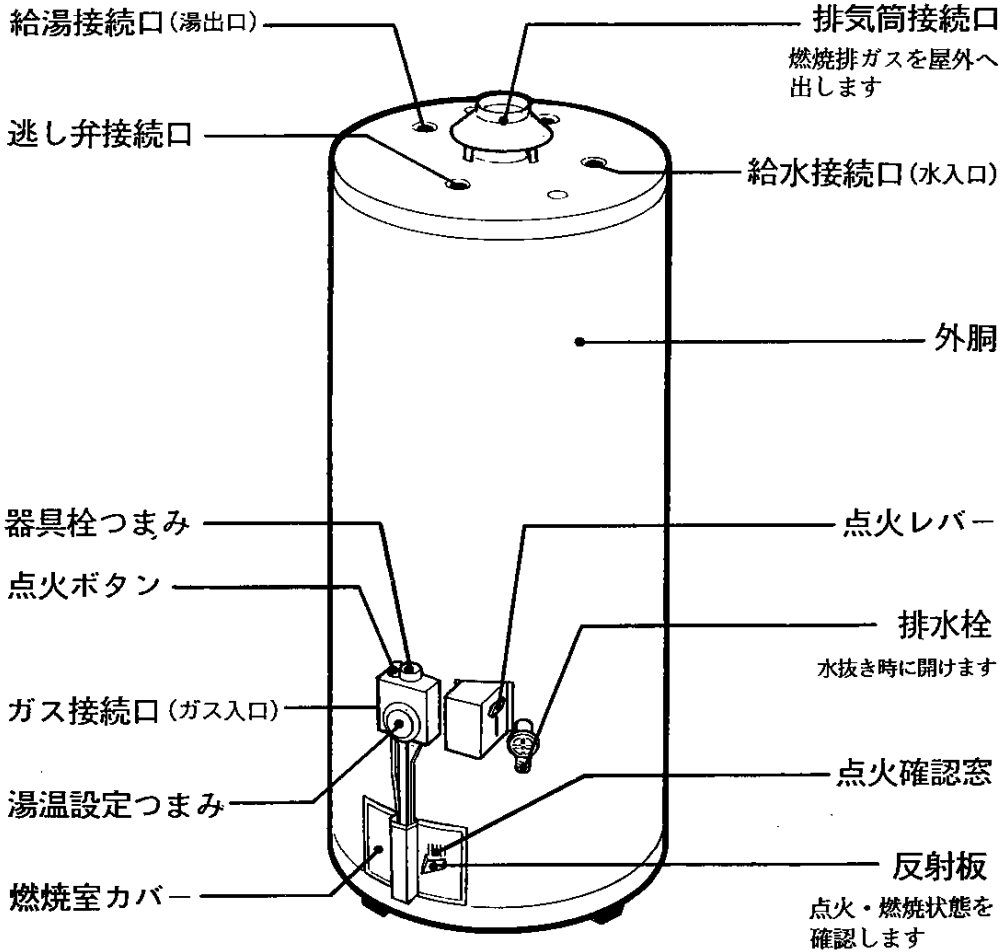
日常の点検・手入れ

- ・日常の点検、手入れを行ってください。(詳しくは9ページをごらんください。)
- ・故障または破損したと思われるときは 使用しないでください。
- ・この時、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

- ・器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。

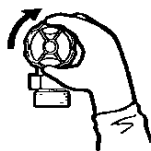
各部の名まえと扱いかた



使用方法

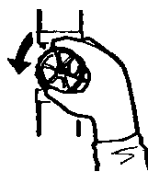
準備と確認

1



排水栓が閉めてあることを確認します

2



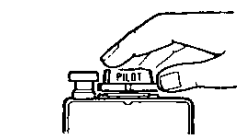
給水元栓・給湯栓を開け、器具に給水します
□満水になり、給湯栓からの出水を確認してから給湯栓を閉めます

3

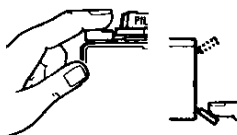


ガス元栓を開けます
□器具栓つまみが“OFF”の位置にあることを確認しガス元栓を全開にします

点火



1 器具栓つまみを“PILOT”の位置にします



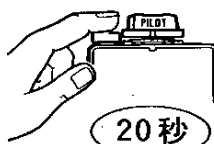
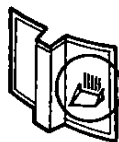
2 赤い点火ボタンを押しながら点火レバーを押します

*点火レバーはカチンと音がするまで押してください。



3 点火ボタンを押したまま、反射板でパイロットバーナーへの点火を確認します

*点火しないときは、点火ボタンを押しながら再度、点火レバーを押してください。

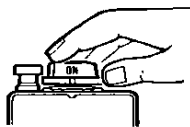


20秒

4 点火ボタンは点火を確認後、約20秒間押し続けます

5 手を離し、再度パイロットの燃焼を確認します

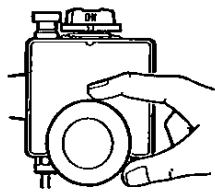
*このとき消えてしまうのは、点火ボタンの押し時間と押す力の不足です。



6 器具栓つまみを“ON”の位置にします

・メインバーナーに点火します。

湯温調節

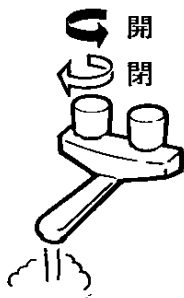


湯温設定つまみでお好みの湯温にします

- ・右に回すと熱くなります。
- ・“VERY HOT” の位置で約80℃、“WARM” の位置で約40℃となります。
- (一めもりの温度差は約5℃です。)

湯温を設定すれば、その湯温まで沸き上げ、その後は一定に保ちます。

出湯・出湯停止



給湯栓を開けると、お湯が出ます

- 混合水栓等で湯と水を混ぜて湯温調節してください。
- ・お湯が出ると貯湯槽に水が補給されます。
- ・貯湯槽のお湯が冷めるとメインバーナーに点火して設定湯温を保ちます。

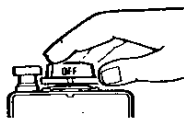


- ・使い始めは配管内の水を出きるまでお湯になりません。
- (お湯が出るまでの時間は配管長さにより異なります。)

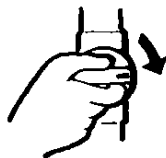
(シャワーを使うときは、必ず手で湯温を確かめてください。)

給湯栓を閉めます

消火



1 器具栓つまみを“OFF”の位置にします



2 ガス元栓を閉めます

—— 夜間など長時間使用しないとき ——

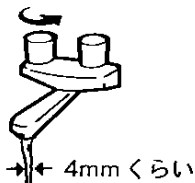
器具栓つまみを“OFF”にもどさず、湯温設定つまみを“WARM”の位置にすると、次に使用するときにお湯が使用できます。

使用方法・凍結予防方法

- 冬期には給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

1 通水による方法

- この場合、器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。



1. ガス元栓は閉めておきます。
2. 給湯栓を開け、少量の水（1分間に約200cc程度）を流したままにしておきます。
3. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流量を確認してください。

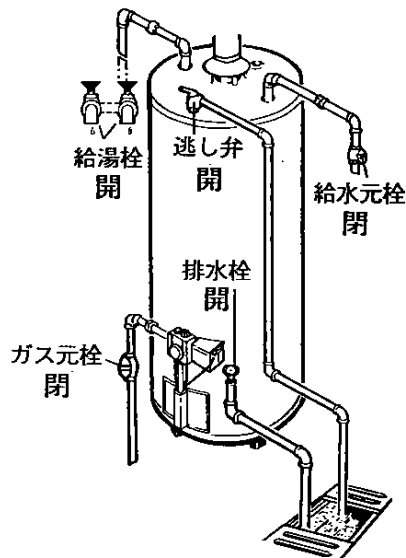
*寒い日には多めに水を流してください。

2 器具内の水を抜く方法

長期不在・異常寒気の場合は次の手順で器具内の水を抜いてください。

- ガス元栓は閉めておきます。

 1. 給水元栓を閉めます。
 2. 全ての給湯栓を全開にします。
 3. 逃し弁を開けます。
 4. 排水栓を開け、排水します。



- 再度お使いになるときは、逃し弁、排水栓を閉め、6ページの「使用方法」にしたがって、ご使用ください。

*配管は水入口・湯出口まで保温材で覆うなどして凍結予防してください。

お願い

- 凍結したまま使用しないでください。
(凍結したまま使用されますと、器具に異常が生じることがあります。)
- 凍結がとけ、通水した後、水漏れのないことを確認してからご使用ください。
(凍結により器具が破損した場合の修理は有料となります。)

点検・お手入れ

○点検・お手入れの際 のご注意

- 器具を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・手入れを必ず行ってください。
- 点検・手入れの際は、ガス元栓を閉めて器具が冷えてから行ってください。

○点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 運転中に異常音は聞こえますか。
- 器具や配管からの水漏れはありませんか。
- ガス臭くありませんか。
- 排気筒がはずれたり、こわれていませんか。
- 排気トップが積雪や鳥の巣などによってふさがれていませんか。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナーや各部の作動が“正常”かどうか定期点検をするのが安全で長期間使用していただくための、“ひけつ”です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご相談ください。

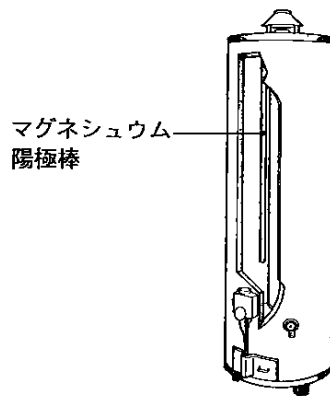
○お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、水気をしぼった布に中性洗剤を含ませ、汚れを落とした後、洗剤分と水気を十分ふき取ってください。

*強力洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。
表面がキズつきます。

防食装置の点検

- この器具にはマグネシウム陽極棒による防食が施されています。使用開始後1～2年に1度程度の点検を受けられることをおすすめします。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社までお申しつけください。
(有償)



点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、給湯栓を開け、器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭などが感じられたときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

原因 \ 現象	パイロットバーナー		メインバーナー				お湯が出ない	異常な音をたてて燃える	処置方法	お客さま	販売店または大阪ガス支社
	点火しにくい	消火する	点火しにくい	消火しやすい	黄色い炎で燃える						
ガス元栓の開け忘れ 開き不十分	*	*	*				*		ガス元栓を全開にする	*	
ガス配管内に空気が残っている	*								点火ボタンを十分押し 配管内の空気を追い出す	*	
ガス圧が適切でない	*	*	*			*	*	*	点検・修理を依頼する		*
給水されていない (満水になっていない)							*		給水元栓、給湯栓を開けて 器具に給水する	*	
断水している			*	*					通水するまで 使用を中止する	*	
凍結している			*						解凍するまで 使用を中止する	*	
点火操作が適切でない	*								使用方法を参照	*	
給湯栓の開き不十分			*	*							
点火装置の故障	*								点検・修理を依頼する		*
設定温度が低すぎる							*		適度に高温の位置にする	*	
パイロットノズルのつまり	*	*	*						点検・修理を依頼する		*
熱交換器の目づまり					*	*	*				
バーナーの炎口づまり			*		*		*				
器具の銘板と 使用ガスの不一致	*	*	*		*		*				

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、ご自身で修理なされないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

○ 次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
使いはじめに多量のお湯を出すと器体から水滴が落ちる	タンクについていた凝結水で（空気中の水分が水滴となったもの）で、水漏れではありません。タンクの温度が設定温度になると止まります。
逃し弁からときどき水滴が落ちる	器具内に高い圧力が生じた場合、逃し弁の働きによりときどき水滴が落ちることがありますが水漏れではありません。
排気筒から白い煙が出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでは少し時間がかかります。

○ 安全装置の種類とその働き

● 立消え安全装置

バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、自動的にガスをストップします。

● 過熱防止装置

器具内の温度が異常に高くなったときに作動し、自動的にガスをストップします。

仕 様

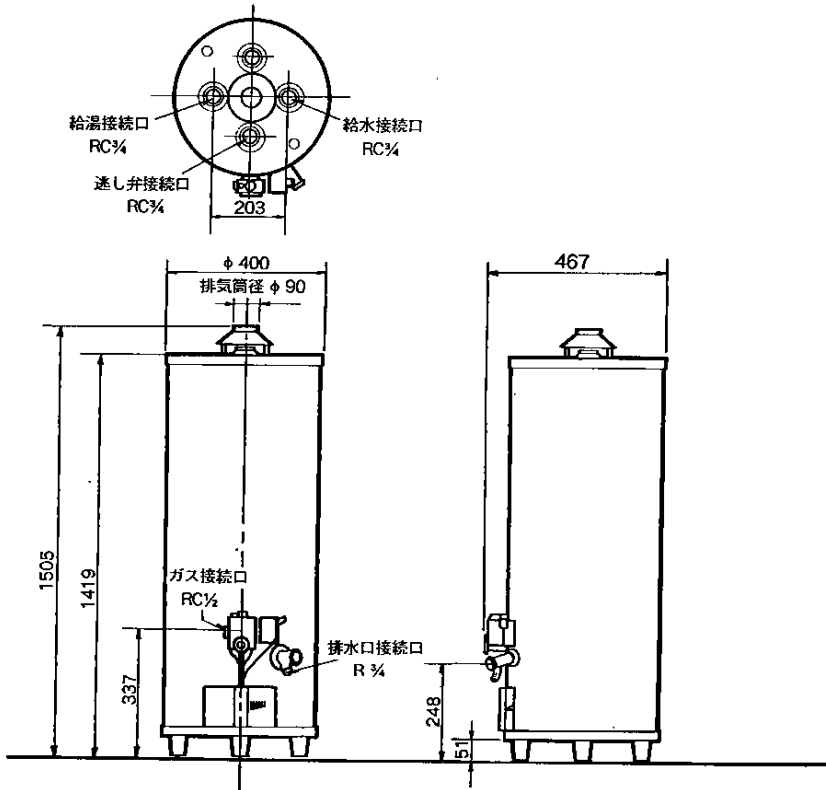
商品の呼び	33-511型	
型 式 名	PS-120R	
種 類	貯湯式・屋内用	
点火方式	圧電点火	
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	1505×400×467 mm	
重量(本体)	50kg	
接 続	給 水	RC3/4
	給 湯	RC3/4
	ガ ス	RC1/2
	排水口	R 3/4
	逃し弁	RC3/4
貯 湯 量	110 ℓ	
有効出湯量 ★	100 ℓ	
最高使用水頭圧	10 m	
最高沸き上り温度	80℃	
沸き上り時間★★	62分	
排 気 筒 径	φ90	
安 全 装 置	立消え安全装置・過熱防止装置	
使 用 ガ ス	毎時ガス消費量	
都市ガス 13A	10700 kcal/h	

★ 10 ℓ/mim で出湯のときを示します。

★★ 水温 15℃で 80℃まで沸き上げる場合を示します。

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

寸法図



単位 : mm

保管とアフターサービス

○保管（長期間使用しない場合）

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス元栓を閉める
- (2) 給水元栓を閉める
- (3) 器具の水抜きを行う（水抜き方法は8ページを参照してください）

○アフターサービスについて

サービスのお申し込み

- まず「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは次のことをご知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
 2. 品名……33-511型
（右のようなラベルが器具に貼り付けてあります。）
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(N) 33-511

大阪ガス株式会社

転居される場合

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますが、調整・改造の可能なもの、不可能なものがありますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	☎550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大 阪	06(586)3200
南部支社	☎590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺	0722(38)1131
北部支社	☎569	高槻市藤0里町39-6	☎高 槻	0726(71)0361
東部支社	☎578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河 内	0729(62)1131
兵庫支社	☎650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神 戸	078(360)3100
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京 都	075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈 良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1-5	☎和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫 路	0792(85)2221
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6-57	☎豊 岡	0796(23)2221
湖南支社	☎525	草津市追分町荒堀680-1	☎草 津	0775(62)5311
彦根支社	☎522	彦根市大東町12-11	☎彦 根	0749(22)3131
(長浜営業所)	☎526	長浜市南呉服町3-4	☎長 浜	0749(62)7171
本社ガスビル サービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大 阪	06(202)2221

大 阪 ガ ス 株 式 会 社

おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。